

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課・宮崎県衛生環境研究所

□ 宮崎県第36週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は830人（定点あたり24.8）で、前週比113%と増加した。

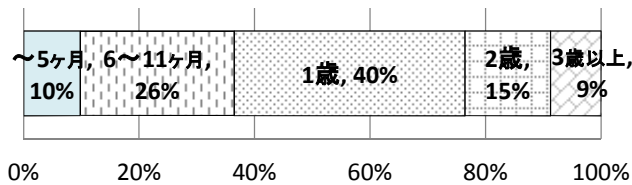
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患はヘルパンギーナであった。

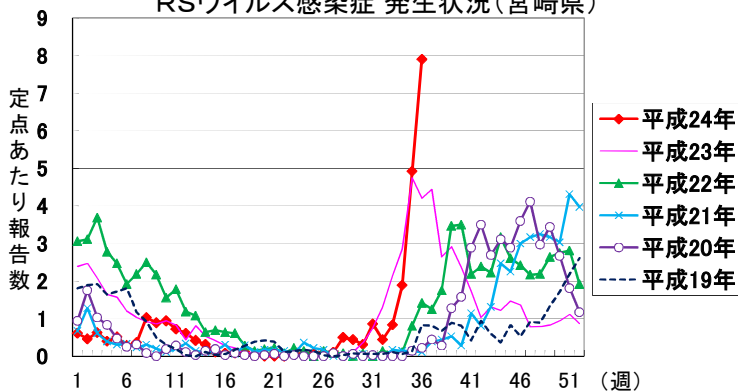
【RSウイルス感染症】

・報告数は285人（7.9）で前週比161%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値（1.3）の約6倍である。報告が開始された平成15年45週以降最も多い報告数である。日向（15.0）、宮崎市（13.4）保健所からの報告が多く、年齢別では2歳以下が全体の約9割を占めた。

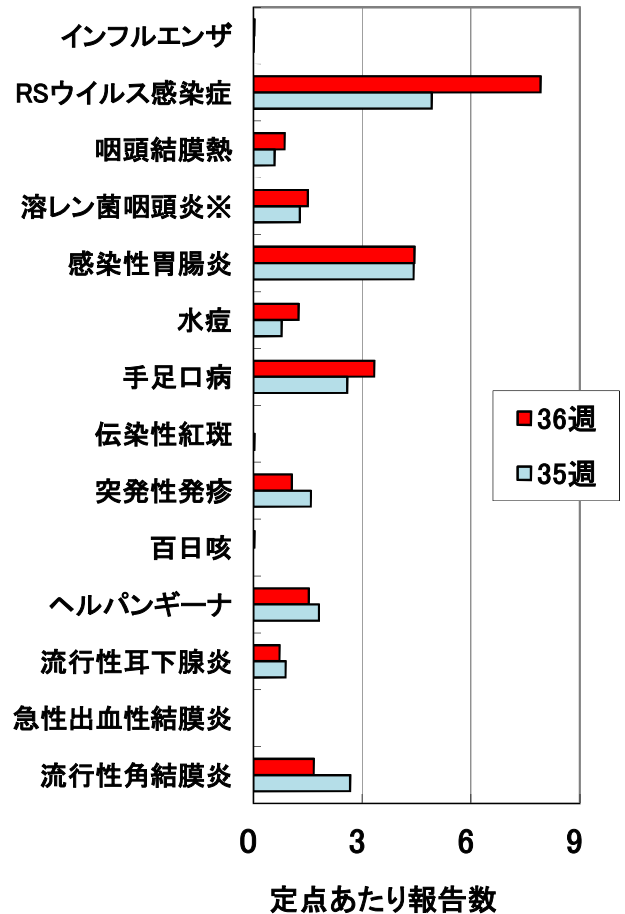
RSウイルス感染症 年齢別割合



RSウイルス感染症 発生状況(宮崎県)

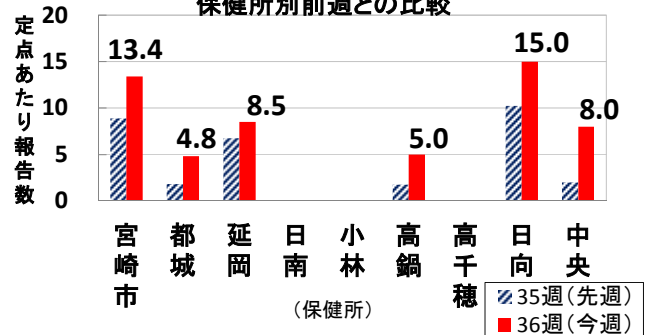


《前週との比較》



※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

RSウイルス感染症 保健所別前週との比較



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：延岡（2人）、宮崎市（1人）保健所から報告された。患者は2歳、4歳、7歳。

□ 流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	手足口病(6.2)
延岡	手足口病(5.3)
日南	咽頭結膜熱(3.3)、手足口病(5.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・手足口病(5.0)
- ・咽頭結膜熱(3.0)

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
 2 類感染症 : 結核 5 例。
 3 類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 7 例。
 4 類感染症 : 日本紅斑熱 1 例。
 5 類感染症 : 破傷風 1 例、麻しん 2 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状	
2類	結核	宮崎市	20 歳代	肺結核	なし	
			60 歳代	疑似症	発熱	
		延岡	80 歳代	肺結核及びその他の結核(腸結核)	発熱、下血、食欲不振	
			80 歳代	肺結核	咳、痰、発熱	
		中央	60 歳代	肺結核	左肺結節影	
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	2 歳	無症状	—	原因菌: O111、VT1 産生
			2 歳	患者	水様性下痢	原因菌: O111、VT1 産生
			6 歳	患者	腹痛、水様性下痢、発熱	原因菌: O111、VT1 産生
			7 歳	患者	水様性下痢	原因菌: O111、VT1 産生
			7 歳	患者	腹痛、水様性下痢、嘔吐	原因菌: O111、VT1 産生
			30 歳代	無症状	—	原因菌: O111、VT1 産生
			30 歳代	無症状	—	原因菌: O111、VT1 産生
4類	日本紅斑熱	日南	90 歳代	—	発熱、刺し口、発しん、肝機能異常	
5類	破傷風	都城	90 歳代	—	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、痙攣	右肘部擦過傷
		宮崎市	20 歳代	修飾麻しん(検査診断例)	発熱	ワクチン接種歴: 不明
	麻しん	日向	30 歳代	修飾麻しん(検査診断例)	発熱	ワクチン接種歴: 1回あり

■ 全国第 35 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 10.5 で、前週比 106%と増加した。今週増加した主な疾患は R S ウイルス感染症と手足口病で、減少した主な疾患は水痘であった。

R S ウイルス感染症の報告数は 1,998 人 (0.64) で、前週比 173%と増加した。宮崎県 (4.9)、福岡県 (3.6)、鹿児島県 (2.1) からの報告が多く、年齢別では 2 歳以下が全体の約 9 割を占めた。

手足口病の報告数は 2,527 人 (0.81) で、前週比 123%と増加した。山形県 (4.4)、青森県 (4.2)、岩手県 (3.8) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 4 歳が全体の約 7 割を占めた。

インフルエンザの報告数は 1,225 人 (0.25) で、前週比 114%と増加した。沖縄県 (17.3) からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 20%、6~9 歳が 7%、10~14 歳が 6%、15~19 歳が 4%、20 歳代~50 歳代が 45%、60 歳以上が 18%を占めた。

□ 全数把握対象疾患 (全国第 35 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	358 例				
3類感染症	細菌性赤痢	8 例	腸管出血性大腸菌感染症	162 例	腸チフス	1 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E 型肝炎	1 例	つつが虫病	1 例	デング熱	8 例
	日本紅斑熱	5 例	マラリア	6 例	ライム病	1 例
	レジオネラ症	12 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	3 例	急性脳炎	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 例	後天性免疫不全症候群	18 例	ジアルジア症	1 例
	髄膜炎菌性髄膜炎	1 例	梅毒	16 例	破傷風	1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	風しん	65 例	麻疹	4 例

*腸管出血性大腸菌感染症：宮城県(23 例)、福岡県 (15 例) からの報告が多い。

*風しん：東京都 (12 例)、兵庫県 (11 例) からの報告が多い。

■月報告対象疾患の発生動向 <8月>

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は49人（3.8）で、前月比140%と増加した。また、昨年8月（3.4）の約1.1倍であった。

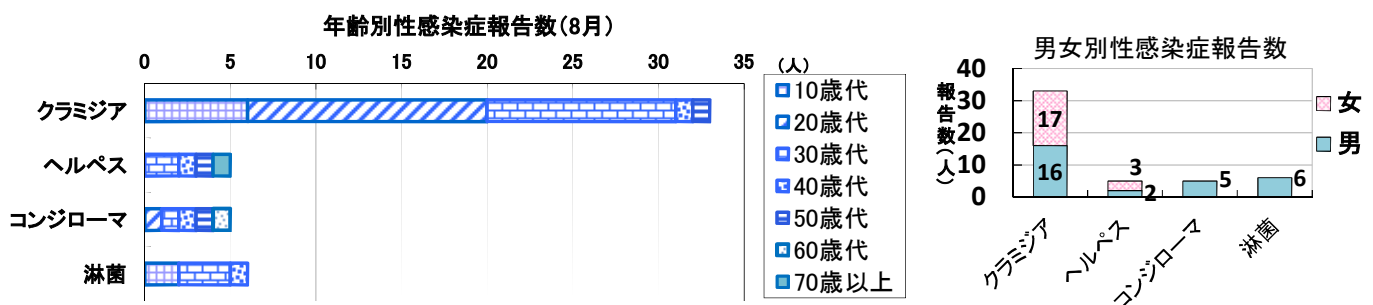
《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数33人（2.5）で、前月の約1.7倍、前年の約1.4倍であった。都城（6.0）、延岡（4.0）保健所からの報告が多く、20歳代が全体の約4割、30歳代が約3割を占めた。

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数5人（0.38）で、前月の約8割、前年の約6割であった。30歳代が全体の約4割を占めた。

○尖圭コンジローマ：報告数5人（0.38）で、前月の約5倍（前月1人）、前年の約1.7倍であった。

○淋菌感染症：報告数6人（0.46）で、前月の約8割、前年の約7割であった。30歳代が全体の半数を占めた。



【全国】 定点医療機関総数：963

定点医療機関からの報告総数は4,198人（4.4）で、前月比100%と横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,163人（2.3）で前月比97%、性器ヘルペスウイルス感染症720人（0.75）で前月比100%、尖圭コンジローマ479人（0.50）で前月比109%、淋菌感染症836人（0.87）で前月比102%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は32人（4.6）で前月比160%と増加した。また、昨年8月（5.1）の約9割であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数29人（4.1）で、前月の約1.7倍、前年の約9割であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告はなかった。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告数3人（0.43）で前月及び前年の3倍であった。70歳以上の報告であった。

○薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：461

定点医療機関からの報告総数は2,082人（4.5）で、前月比102%と横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,834人（4.0）で前月比104%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症213人（0.46）で前月比87%、薬剤耐性緑膿菌感染症34人（0.07）で前月比117%、薬剤耐性アシネトバクター感染症1人（前月は報告なし）であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2012年 第36週(09月03日～09月09日)

疾病名		第35週	第36週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1	2	1		1						
	定点あたり	0.02	0.03	0.06	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	177	285	134	29	34			20		60	8
	定点あたり	4.92	7.92	13.40	4.83	8.50	0.00	0.00	5.00	0.00	15.00	8.00
咽頭結膜熱	報告数	21	31	1	5	11	10	2	1		1	
	定点あたり	0.58	0.86	0.10	0.83	2.75	3.33	0.67	0.25	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	46	54	6	4	28	5	1	6	1	3	
	定点あたり	1.28	1.50	0.60	0.67	7.00	1.67	0.33	1.50	1.00	0.75	0.00
感染性胃腸炎	報告数	159	160	23	35	16	15	39	14	1	15	2
	定点あたり	4.42	4.44	2.30	5.83	4.00	5.00	13.00	3.50	1.00	3.75	2.00
水痘	報告数	28	45	21	4	9	1	1	4		5	
	定点あたり	0.78	1.25	2.10	0.67	2.25	0.33	0.33	1.00	0.00	1.25	0.00
手足口病	報告数	93	120	24	37	21	15	10	2		11	
	定点あたり	2.58	3.33	2.40	6.17	5.25	5.00	3.33	0.50	0.00	2.75	0.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	57	38	13	2	7	6	3	4		2	1
	定点あたり	1.58	1.06	1.30	0.33	1.75	2.00	1.00	1.00	0.00	0.50	1.00
百日咳	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	65	55	13	10	12	9			1	6	4
	定点あたり	1.81	1.53	1.30	1.67	3.00	3.00	0.00	0.00	1.00	1.50	4.00
流行性耳下腺炎	報告数	32	26	3	21				1		1	
	定点あたり	0.89	0.72	0.30	3.50	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	16	10	7		3						
	定点あたり	2.67	1.67	2.33	0.00	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数			0								
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	3	3	1		2						
	定点あたり	0.43	0.43	1.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

* 先週(第35週)に一部修正があります。

●全数把握対象疾患累積報告数(2012年第1週～36週)

2類感染症	結核	169例(5)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	57例(7)				
4類感染症	A型肝炎	2例	つつが虫病	13例	デング熱	1例
	日本紅斑熱	8例(1)	レジオネラ症	4例		
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	7例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例	後天性免疫不全症候群	2例	梅毒	2例
	破傷風	3例(1)	麻しん	3例(2)		

()内は今週届出分、再掲